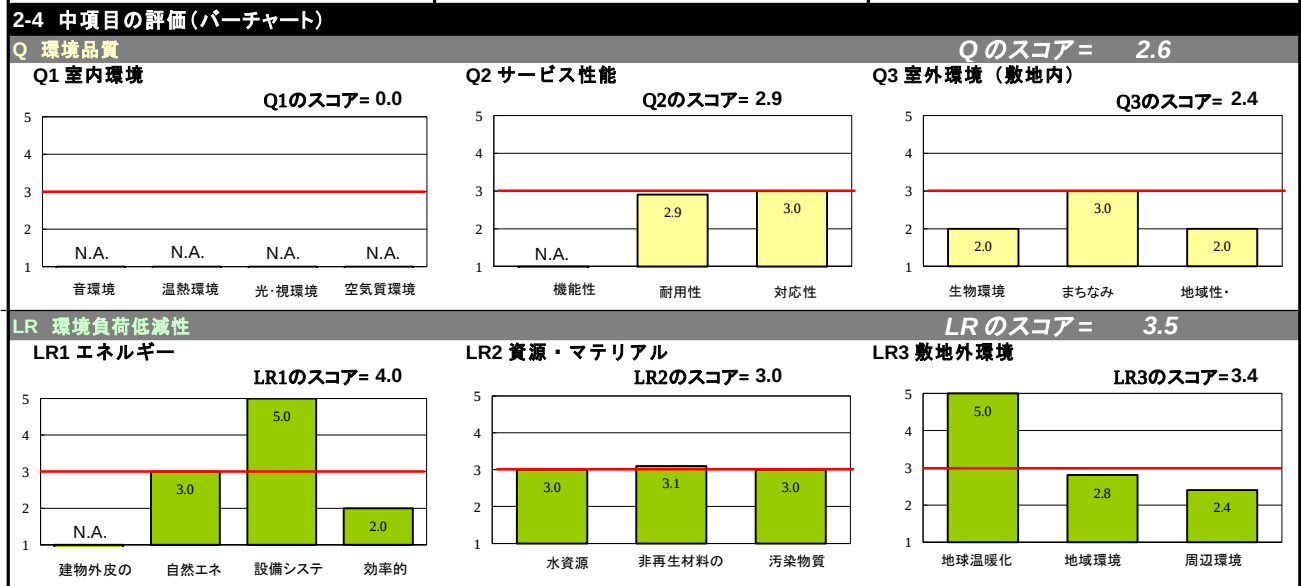
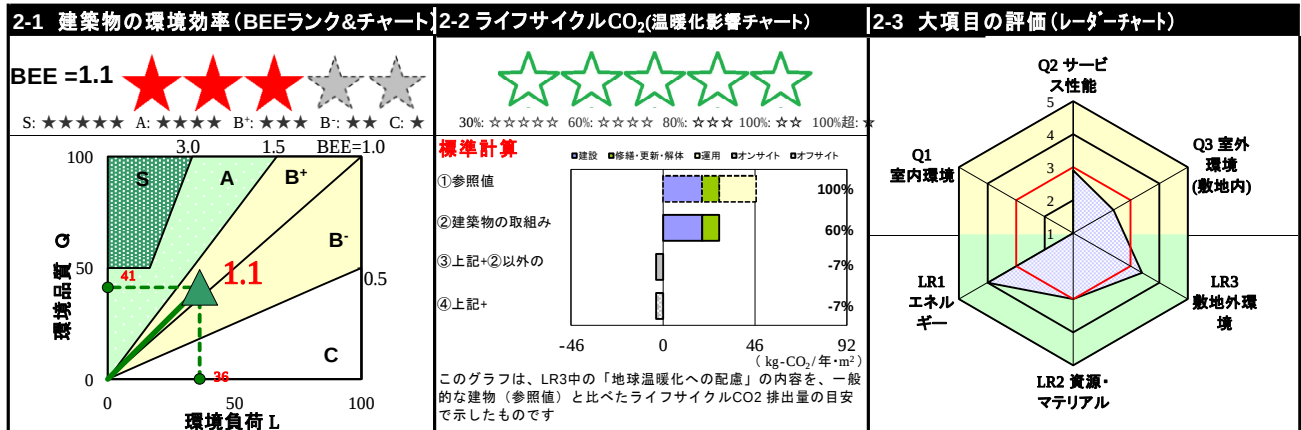


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ザイマックス寝屋川工場 新築	階数	地上3F
建設地	大阪府寝屋川市萱島東	構造	S造
用途地域	市街化地域、準防火地域	平均居住人員	70 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年12月6日
敷地面積	2,888 m ²	作成者	株式会社前田組一級建築士事務所 尾崎 敏明
建築面積	1,609 m ²	確認日	2024年12月13日
延床面積	4,600 m ²	確認者	株式会社星羅建築事務所 井上 光輝



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
省エネ・省資源に配慮し、快適に執務できる室内環境に配慮した計画とした。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外皮断熱性を十分確保し、快適な室内環境となるよう配慮している。	耐用年数の長い材料を使用し、建物が長期間使用できるよう配慮している。	道路に面する部分は可能な限り緑化に努め周辺景観へ配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明器具を採用し、省エネルギーに配慮している。	節水機器やエコマークを取得した建築資材を採用し、省資源化に努めた。	特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)ザイマックス寝屋川工場 新築工事					
建設地		大阪府寝屋川市萱島東					
用途／区分		工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	断熱性能	評価対象外				評価対象外	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル 住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外	
④	エネルギー消費性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル 住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外				評価対象外 6	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	5.0	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		